



SSH&国際探究ニュース

SSH & Global Education Reports

トルコ史研究講座を戸山で開講し、都立高生同士の交流を行いました！

8月25日(火)、戸山高校にて「トルコ史研究講座」が開講されました。本講座は、令和8年度都立高校生等海外派遣研修(都立高校生「Global Visit」)でトルコに派遣される生徒を対象としたもので、戸山高校のほか、昭和高校、桜修館中等教育学校、国立高校の生徒が参加し、事前学習と交流を行いました。

前半は戸山高校の世界史担当教員による講義を受講し、トルコの歴史や文化についての理解を深めました。派遣プログラムに参加しない戸山生の1年生も2名参加しました。後半には派遣プログラム参加生徒同士によるグループ交流を行い、学校の垣根を越えて親睦を深めました。

12月19日(土)～26日(土)の現地研修に向け、共に派遣される仲間としての結束が高まる貴重な機会となりました。今回の学びを現地での実りある研修へとつなげていくことが期待されます。



トルコ史研究講座の主な内容とハイライト

トルコの歴史と国家の歩み

内陸アジアを起源とするトルコ系民族の西進とイスラーム教化の過程をはじめ、アジア・欧州に跨る大帝国へと発展したオスマン帝国の拡大と縮小の歴史を概観した。さらに、オスマン帝国の滅亡からムスタファ・ケマルによるトルコ革命、そしてトルコ共和国建国への足跡をたどり、革新的な世俗化改革が社会にもたらした影響や、21世紀におけるヨーロッパ諸国との現代的な関係性まで深く考察した。

現代トルコのリアルと都市イスタンブール

現在のトルコ共和国における国勢、多種多様な民族・言語・宗教のグラデーションといった最新の社会情勢を提示。また、東西文明の交差点であるイスタンブールに注目し、1453年のコンスタンティノープル陥落という歴史的転換点と、現代のイスタンブールを彩る歴史的建築・観光名所の見どころを解説した。

日本とトルコの絆

両国が培ってきた長きにわたる友好関係の歴史にもスポットを当て、事前に調べた戸山生の発表も講座内で行った。トルコ軍艦「エルトゥールル号」の乗組員を日本国民が献身的に救護した出来事から始まった絆は、イラン・イラク戦争時、危機的状況のテヘランへトルコ救援機が急派され、取り残された在留日本人を救出した恩義へと世代を超えて引き継がれ、さらに現代では、両国が連携して技術の粋を集めた「ボスポラス海峡海底トンネル」の建設など、国際協力の現場でもその信頼関係が活かされている。

参加者の感想



- ・世界史の授業で得た知識がトルコの歴史や都市の成り立ちと結びつき、ビザンツ・オスマン両帝国の重なりによる「モザイク国家」としての姿や、想像以上の深い親日歴史への新たな気づきを得ることができました。
- ・豊富な映像資料や観光情報によって具体的に注目すべき見どころ(ギリシャとオスマン帝国の遺跡の違いなど)が明確になり、派遣に向けてさらに深く調べ、現地を実際に訪れるのが楽しみになりました。
- ・他校の生徒との交流会では最初は緊張したものの、次第に打ち解けて仲良くなることができ、現地へ一緒に行く仲間としての絆を深められる非常に貴重で有意義な機会となりました。